

かしま

ほっと HOT ほっと hot 通信

ホームページ <https://www.kashima.jp>

かしま病院

検索

スマートフォンをご利用の方は、



QRコードを読み取り、アクセスしてください。

PCサイトと同じ内容がご覧頂けます。

1月号

Vol.384

令和7年（2025年）1月1日発行

■編集/かしま病院広報企画室

■発行/社団医療法人養生会

〒971-8143

福島県いわき市鹿島町下藏持字中沢目22-1 tel.0246-58-8010(代) fax.0246-58-8088

ご意見・ご感想は...

上記住所へ郵便、またはE-mailでお送り下さい。

かしま病院広報企画室まで

kouhou@kashima.jp

1-1-2

～新春鼎談～

養生会の振り返りと今後の展望

中山 大（社団医療法人 養生会 理事長）

石井 敦（養生会 理事 兼 かしま病院 院長）

中山 文枝（養生会 理事 兼 かしま病院 診療部長）

3

いわき市シルバーリハビリ体操指導士会
技能研修会を開催しました

4

コラム ひんがら目（211）

『少数与党になり勝手が通らなくなりました』

呼吸器科 部長 山根 喜男

ようこそ家庭医療へ！

リハビリPOST

世界糖尿病デー イベント開催！

かしま荘通信



卷頭特集

～新春鼎談～ 養生会の振り返りと今後の展望

新年おめでとうございます。今号の特集は、「新春鼎談」と題して中山大理事長、石井敦病院長、中山文枝診療部長にお集まりいただき、養生会の1年間の振り返りや今後の展望についてお話をいただきました。

いたします。
せています。よろしくお願ひ
いたします。

中山 いつものことがいつものよう
に過ぎていった1年でしたけれど、
以前から病院の経営は厳しい時代が
続いており、経営改善のための問題
点抽出は行われてはいたものの、や
ることはわかつていいけどできな
かったものが、（経営母体が替わっ
て）着実に具現化されたと感じた年
でしたね。実際、それでものすごく
疲弊したとかっていうんじやなく
て、むしろ達成感があつて嬉しい出
来事になつた、というのが印象的な
1年だつたと思っています。

私自身、これからもまだまだ働か
せていただきます。

かしま

今年1年間、養生会の出来
事や力を入れたことなど、
振り返ってみていかがでし
たでしょうか。



石井 全職員の皆さんのがしこたま働
いて、働けど働けど楽にならな
い。本来であれば疲れ果てて疲弊し
たような雰囲気になつてもおかしく
ないのに、主体的に自分たちがで
きることはなんのかとか考えて行動
してくれているなというのをすごく
感じられて、そこがすごく嬉しい、
そんな風に感じました。
ただ、この状況を長期間続けるの
はとても難しいので、何かしらもう
少し楽に楽しくできる役割を果たせ
る道を探していきたいとの想いで
1年間過ごしていました。具体的な
解決策を職員全体で模索しておりま
す。とにかく職員の皆さんには深い
敬意を持っております。

中山 今年もたくさんの方に喜んで貰
って、本当に感謝です。本当に感謝で
あります。本当に感謝であります。
その他の「医療と地域」プロジェクト
は、年内に開催する予定です。今ま
では、院内ファン増やすという目標を掲
げ、院内イベントを行い段々と院内
ファンが増えているなど実感した年
でした。

石井 実際に地域多機能病院の役割が非常に日々高まつていて、我々がその役割を果たすことは絶対にやるべきことだと確信しています。また、医療従事者の高齢化

母としての眼差しが、非常に地域を健全化していくと思うんですね。なので、外来や病棟の中にいるだけじゃなくて、どんどん活動を外に向けていくべきだと私はすごく思っています。

自分が現役の間にじこかりやこておきたいのは、高齢者医療に関する問題です。おそらく2040年過ぎぐらいまでは高齢化が社会問題になる時期だと思いますが、そこを社会問題だというのではなく、かしまでは「もう何年も前から高齢者医療をやってきていて得意だ」、「困ったことがあつたらかしまに来てくれ」と言えるのが理想かなと思っています。職員の皆さんも同じような覚悟ができると思いますので、引き続き頑張っていきたいです。

養生会のごわからぬ目標や
地域での役割についてお聞
かせください。



の問題を解決するために、今は若手の教育ですね。学生、研修医含めて後進を育てることに注力していきたいです。短期的にはすごく手間のかかる仕事ですけども、これは医療界の将来、未来を作るために絶対に手が抜けないし、より力を入れていきたいと思つています。

A portrait of a middle-aged man with glasses and a dark shirt, sitting at a desk.

中山 今、病院中心のまちづくりという話が出たんだけど、我々がヒエラルキーの頂点に立つて何かをしろっていうよりも、地域をまるつと担保するっていうような印象に近いんだと思うんです。以前から、医療は社会インフラだとうお話をしてくださいましたけど、ほんとにインフラみたいになってきて、行政の手の届かないところは、どんどん我々病院がやつていかなきやいけない時代になつてきていると思うんですね。

者に始まつて、研修医や学生さんが来てくれて、専攻医も来てくれるようになつて、ここで学ぶ流れができたといったいう事はものすごくことなのです。実際その中から協力してくれるような人が出てきているのは、かなり画期的なことです。しかし、それをおごることなく、もつと拡充した研修システムにしてかないといけないんだろうし、選んでくれる病院になつていくことが大事だと感じました。

文枝 人も地域も大好きな医療人が集まつた病院だと思うので、病気じやなくとも、気軽に足を運んでください。

石井 どうしていいかわかんないといふことも、遠慮なく相談してください。

文枝　自分の地元があつて、第2の地元が「いわき かしま病院」であつてくれればいいのかな。

石井 1番嬉しいのは、かしま病院に学生の時に実習をして、またかしま病院で働いてみようと研修医で来て、さらに専攻医として働き、そしてようやく「指導医としても働きに来たい」という声が上がるようになってきて、そうやつて楽しく仕事したり学んだりできる場所になつていけば、きっと益々活性化して発展していくんじゃないかなと思います。そうなればもう本当に地域まるごと診るという理想が現実に向かっていくと思います。

最後に読者の皆さんへメッセージをお願いします。

中山 健康問題で困らなくとも、我々をうまく使ってください。地

中山文枝 診療部長

● 座右の銘
困った厳しい状況下なんだけど、何かしら打破できる方法を見つけていきたいと思っています。

●右の銘がライバル
頑張るのも怠けるのも自分自身。自分自身をちゃんとコントロールしたい大人でいたいなど。

いわき市 シルバーリハビリ体操指導士会技能研修会



11月6日と20日に、いわき市シルバーリハビリ体操指導士会技能研修会を開催しました。

シルバーリハビリ体操とは、医師の大田仁史先生が考案した「いつでも」「だれでも」「どこでも」できる高齢者向けの体操です。いわき市では、現在200か所以上でシルバーリハビリ体操教室が開催されており、参加者に体操を指導しているのが、規定の研修を受けた市民ボランティアのシルバーリハビリ体操指導士です。指導士の皆さんには、地域の健康を支える重要な役割を担っています。

研修会では、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士からの講話やリハビリ職との意見交換、リハビリ室の見学など、リハビリについて幅広く学んでいただきました。研修の最後には院長の石井敦先生から講話があり、指導士の皆さんへのアドバイスとともに、日頃の活動への感謝とエールが送されました。

2日間で総勢51名の指導士が当院で学びました。少しでも普段の体操指導の役に立つものがあれば幸いです。今後も地域で活躍する指導士の皆さんのお力になれるように協力していきます。



Study

少数与党になり勝手が通らなくなりました
憂うことではあります

裏金政治に陥りました。

新年おめでとござります。
と言いたいところですが、世界のあちこちで紛争が激化しており不安だらけです。グローバル化した現代では、地球の一点で發生した一瞬のトラブルがあつて世界に影響します。

平時には石橋を叩いて渡る熟慮が大切ですが、危急の際には瞬時の決断と勇猛果敢な行動が求められます。平時には多様性が許されますが、緊急時には目標に向かった

税金を払わなくてすむ程度にしか働かないという生き方は、本人にとっては合理的かも知れませんが、国家を支える国民としての自覚が足りません。税金を払って国を支える気概を持つのが国民の義務です。しかし、今そんなことを公言すれば聾覚を貰

端な場合にはA党の独占もあり得ます。わずかに過半数を越えた政党が圧倒的優位に立つて国会運営が可能になり、しかも党議拘束があると、政党内での異見が禁止されます。派閥が有効に機能するときには権力者の暴走にブレーキをかけることができますが、うまく機能しないと、独裁政治になります。こうして、安倍一強は、安定化を背景に、やりたい放題のことをやつてきました。無力化した野党の思考力は省化しました。

議員の最大の関心事が次期選挙に勝つことにあるようでは、大衆受けの政策に走るか、政治献金に頼る金権政治になります。野党は前者のボビュリズムに、与党は後者の

た)を楽にさせる、に通じます。迷惑にならない範囲で診療に励んでいます。勤労できることに感謝しています。

現場に出て、培ってきた医療レベルを後続に伝承し、長年診てきた患者さんを次世代に任せられるよううにと願っています。

入学試験で、定員割れなのに不合格になるとのはけしからん、という人がいますが、合格のレベルに達しない人は不合格です。ダメなものはダメなのです。努力して試練を越えないひと間は大きくなりません。

ようこそ 家庭医療へ!

～いわきに生きる家庭医育成への挑戦～



皆様、新年おめでとうございます。今回は、日本の正月ならではの疾患についてご紹介します。

60代の男性が、某年元旦の朝、家族とともににお節料理などを大量に食べたところ、夕方から激しい腹痛が出現し、頻繁に嘔吐を繰り返し改善

しないため病院に運ばれ、画像所見から腸閉塞と診断され入院となりました。幸い症状はすみやかに改善し無事退院となりましたが、詳しく話を聞くと、男性は年末の29日頃から毎日10個程度、餅を食べ続けていました。また家族によると、普段からとても早食いで、咀嚼時間も短いとのことでした。

餅は日本の正月の代表的な食べ物ですが、一般的な米(粳米)ではなく、餅米を加工して作られます。粳米と餅米はデンプンの構成比率が異なります。まず粳米はアミロースを75%、アミロペクチンを25%ほど含んでいますが、餅米はアミロースを含まずアミロペクチンだけで構成されています。このアミロペクチンは多数のαグルコース分子がグリコシド結合によって重

第179回

日本の正月と言えば…。

石井 敦 病院長



合し、多数の分枝状構造を有しています。これが餅ならではの柔軟性と伸長性を生み出します。

アミロペクチンもデンプンですから、唾液や脾液中のアミラーゼに曝露されれば速やかに分解されるはずですが、アミロペクチンは水分子を取り込み膨張しやすいという特徴があり、粘度が高く付着しやすいうことから、咀嚼が不十分な場合には唾液による分解不足と、腸管内の水分を取り込み餅が膨張して餅の内部と脾アミラーゼとの接触が妨げられることで腸管に詰まってしまう可能性があるのです。この男性の事例のような餅による腸閉塞は正月から初七日に集中します。餅による腸閉塞の6割弱が1月に集中しているというデータも報告されています。

腸閉塞以外にも餅に関する救急搬送を経験することは珍しくありません。餅をのどに詰まらせる。熱い餅で火傷する。杵で頭を叩かれるなど様々です。皆様も十分にお気をつけください。

かしま病院では、2008年度から家庭医を志す研修医や地域医療実習を行う医学生を受け入れています。このコラムを担当する医師の石井敦は日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医として、研修医・医学生の指導を行っています。

リハビリ POST 第166回

退院時指導とフォローアップ

ご家族にとっては退院が決まるとき嬉しい反面、自宅での生活や介護に不安を感じる方も多いいらっしゃると思います。当院では入院患者様が退院する前に必要に応じて家居調査を行っていますが、コロナ感染症拡大後は患者様本人

で動作練習や指導を行うことがあります。その際に何か問題があればケアマネージャーさんに報告し、今後関わっていく方々に情報共有していきます。

中には退院後介護サービスの利用がなく何かあった時に相談できるところがない方もいます。

そのような方には必要に応じて退院後概ね2週間～1ヶ月を目安に自宅を訪問し、日常生活に何か問題点はないか確認する退院後フォローアップも行っています。その際には環境の確認だけでなく自宅で行っている運動の確認や提案も行っています。

このように入院中にしっかりと準備してから退院しても、実際に生活してみると見えてくる問題点もあると思います。患者様本人だけでなくご家族も不安なく安全な在宅生活が送れるように今後も支援していきます。

理学療法士 酒井萌子



かしま荘通信

かしま保育所の園児さん来荘 11月11日(月)



11月11日(月)かしま保育所の園児さんたちが、かしま荘に来荘して体操を披露していただき、最後に来年の干支の飾り物をプレゼントしてくれました。可愛らしい姿に利用者様たちも元気を貰ったご様子でした！

「世界糖尿病デー」イベント開催！ in かしま病院

world diabetes day
14 November



11月15日、当院外来棟にて「世界糖尿病デー(11/14)」のイベントが開催されました。イベントでは、糖尿病の知識や治療法について、糖尿病療養指導士が答える相談会を行いました。糖尿病のリスクに備えた生活を心がけましょう！

